浜田市定住自立圏共生ビジョン 成果指標一覧

資料6

取組 政策分野 施策		成果指標	策定時 現状値	2026年度 目標値	2024年度 実績値	進捗 評価	担当課
1　生活機能の強化に係る取組							
A　医療							
エ　へき地医療確保体制の充実							
	1	浜田市国民健康保険診療所の常勤医師数の増加（へき地診療所等5施設）	6人役	6人役	5人役	C	健康医療対策課
B　福祉							
ア　子育て支援環境の整備							
	2	幼児教育センターが実施する研修参加者数 （令和5～8年度の累計）	年間0人	累計640人	累計512人	A	子ども・子育て支援課
	3	病児・病後児保育室利用者数の増加 （年間延べ利用者数）	16人	150人	247人	A	子ども・子育て支援課
	4	第3子以降新生児子育て応援金交付件数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間0件	累計440件	累計185件	B	子ども・子育て支援課
	5	地域子育て支援拠点利用者数の増加 （年間延べ利用者数）	17,246人	19,500人	20,995人	A	子ども・子育て支援課
イ　高齢者・障がい者福祉サービスの充実							
	6	要介護認定率増加の抑制（要介護者のみ）	18.4%	19.3%	17.6%	A	健康医療対策課
	7	認知症サポーター養成講座受講者数の増加　（目標値見直し）	7,392人	9,100人	8,496人	B	健康医療対策課
	8	市民後見人養成講座修了者数の増加	108人	160人	142人	B	健康医療対策課
	9	シルバー人材センター会員の確保	429人	519人	415人	B	健康医療対策課
	10	地域生活支援拠点の整備	0か所	1か所	1か所	評価しない	地域福祉課
	11	福祉施設から一般就労への移行	4人	24人	7人	C	地域福祉課

取組 政策分野 施策		成果指標	策定時 現状値	2026年度 目標値	2024年度 実績値	進捗 評価	担当課
	12	手話通訳奉仕員登録者数の増加 （手話通訳士・者含む）	62人	89人	99人	A	地域福祉課
C　教育							
ア　読書活動の強化							
	13	市人口に対する図書館利用者カード登録者の増加	42.5%	60.0%	61.8%	A	教育総務課
	14	市民一人当たりの図書貸出冊数の増加	4.9冊	5.6冊	5.1冊	B	教育総務課
D　産業振興							
ア　観光振興							
	15	観光入込客数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間 938,866人	累計 8,525,000 人	累計 4,386,120 人	B	観光交流課
	16	宿泊客数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間 209,006人	累計 1,116,000 人	累計 855,833人	A	観光交流課
	17	合宿等誘致人数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間478人	累計 17,500人	累計8,799 人	B	観光交流課
	18	石見神楽定期公演の入場者数の増加 （年間平均入場者数）	33人	100人	54人	B	観光交流課
イ　地域ブランド化							
	19	新規「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間3店	累計27店	6店	C	水産振興課
	20	３果樹の農業産出額の増加 （令和4～8年度の累計）	年間 107,182千 円	累計 850,000 千円	累計 583,760 千円	A	農林振興課
	21	有機野菜栽培面積（有機ＪＡＳ圃場面積）の拡大 （令和4～8年度の累計） （目標値見直し）	年間0㎡	累計 82,000㎡	累計 10,576㎡	C	農林振興課
E　環境							
ア　地球温暖化対策の推進							
	22	住宅用太陽光発電設備設置件数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間3件	累計40件	累計31件	A	環境課

取組 政策分野 施策		成果指標	策定時 現状値	2026年度 目標値	2024年度 実績値	進捗 評価	担当課
	23	公共施設等における太陽光発電設備の新規設置数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間0施設	累計22施設	累計1施設	C	環境課
	24	地域が開催する環境関連イベント・講座の開催回数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間9回	累計75回	累計24回	B	環境課
イ　ごみの減量化や資源化の推進							
	25	総ごみ排出量の減少 （年間の総ごみ排出量）	19,370t	17,140t	16,058t	A	環境課
	26	ごみのリサイクル率の増加	20.27%	21.50%	20.67%	B	環境課
F　防災							
ア　安全で安心なまちづくり							
	27	自主防災組織の組織率の増加	68.2%	90.0%	74.3%	B	防災安全課
	28	防災出前講座の開催回数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間66回	累計500回	累計390回	A	防災安全課
	29	総合防災訓練等への自主防災組織の参加率　（目標値見直し）	22.8%	96.0%	94.0%	A	防災安全課
	30	防犯出前講座の開催回数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間1回	累計200回	累計45回	C	防災安全課
2　結びつきやネットワークの強化に係る取組							
A　地域公共交通							
ア　地域公共交通網の連携と生活交通の確保							
	31	交通手段の確保に取り組むまちづくり活動団体数の増加	3団体	20団体	19団体	A	まちづくり社会教育課
	32	敬老福祉乗車券交付事業の申請者数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間3,176人	累計 20,000人	累計 10,469人	B	まちづくり社会教育課
	33	生活路線バスの利用者数の維持	22,760人	22,760人以上	36,825人	A	まちづくり社会教育課
	34	予約型乗合タクシーの利用者数の維持	3,816人	3,816人以上	2,854人	C	まちづくり社会教育課

取組 政策分野 施策		成果指標	策定時 現状値	2026年度 目標値	2024年度 実績値	進捗 評価	担当課
	35	環境整備を実施したバス停数の増加 （目標値見直し）	6か所	22か所	16か所	B	まちづくり社会教育課
	36	公共交通利用促進策の増加 （令和4～8年度の累計）	年間1事業	累計18事業	累計9事業	B	まちづくり社会教育課
B　デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備							
ア　携帯電話不感地域の解消							
	37	インターネット加入件数の増加 （目標値見直し）	3,650件	5,400件	5,441件	A	DX推進課
C　道路等の交通インフラの整備							
ア　生活幹線道路の整備							
	38	市道浜田527号線道路改良　（整備延長450m）	50%	100%	100%	A	建設整備課
	39	市道小国峠線道路改良 （橋梁架け替え1橋）	0%	100%	44%	B	建設整備課
	40	市道戸地線道路改良 （整備延長1,400m）	31%	55%	44%	B	建設整備課
	41	市道門田線道路改良 （整備延長675m） （目標値見直し）	40%	68%	61%	A	建設整備課
	42	市道白砂1号線道路改良 （整備延長1,400m）	70%	84%	76%	A	建設整備課
	43	三隅益田道路の整備	51%	100%	91%	B	建設企画課
D　地域の生産者や消費者等の連携による地産地消							
ア　地産地消の推進							
	44	学校給食での地域食材利用率の増加	61.9%	80.0%	83.2%	A	教育総務課

取組 政策分野 施策	成果指標	策定時 現状値	2026年度 目標値	2024年度 実績値	進捗 評価	担当課
E　地域内外の住民との交流・移住促進						
ア　定住施策の充実						
45	Ｕ・Ｉターン相談件数の増加	327件	428件	813件	A	定住関係人口推進課
46	Ｕ・Ｉターン者数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間209人	累計1,050人	累計619人	B	定住関係人口推進課
47	浜田応援団員数の増加	125人	220人	183人	A	定住関係人口推進課
48	関係人口による応援活動件数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間10件	累計50件	累計52件	A	定住関係人口推進課
イ　空き家の利活用						
49	空き家バンク登録件数の増加 （年間登録物件数）	74件	94件	60件	B	定住関係人口推進課
50	空き家バンク登録物件に係る契約件数の増加 （年間契約物件数）	53件	68件	49件	B	定住関係人口推進課
3　圏域マネジメント能力の強化に係る取組						
A　宣言中心市等における人材の育成						
ア　人材の育成						
51	人材育成研修会等の開催回数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間2回	累計30回	累計16回	B	まちづくり社会教育課
52	大学等高等教育機関と連携したまちづくり推進事業補助金の申請件数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間1件	累計38件	累計36件	A	政策企画課
53	島根県立大学との共同研究実施件数の維持 （令和4～8年度の累計）	年間6件	累計30件以上	累計19件以上	A	政策企画課
54	共同研究等の成果を活用した事業数の増加 （令和4～8年度の累計）	年間2事業	累計15事業	累計6事業	B	政策企画課
55	政策や方針決定過程における女性の参画人数の増加	23.5%	40.0%	28.2%	B	人権同和教育啓発センター
56	政策や方針決定過程における女性の参画拡大	78.0%	100.0%	78.0%	B	人権同和教育啓発センター

定住自立圏における具体的な取組についての進捗状況

1　生活機能の強化に係る取組

A　医療

ア　医師・医療従事者の確保	
主な事業 □地域医療連携事業【医療従事者の育成に向けた支援】 □看護学校学生等修学資金貸付事業 □リハビリテーションカレッジ島根支援事業 □浜田医療センター附属看護学校支援事業	
総合振興計画 主要施策	医療従事者の確保
2024年度 主な取組と成果 （健康医療対策課）	○地域医療や総合診療に関心のある医師や医学生の研修受け入れに取り組みました。 ○中高生の医療体験実習や、医学生・看護学生との意見交換会を開催し、つながりを深めました。 ○つながりのできた医師を訪問することで継続的な関係の維持に努めました。
今後の展開 （健康医療対策課）	○医学生、看護学生との意見交換等について、江津市と共催で行うことにより圏域として人材育成に取り組みます。 ○医師招へいについて、島根県や近隣病院との連携を図ります。

イ　地域医療ネットワークの充実	
主な事業 □地域医療連携事業【地域医療に対する啓発活動】	
総合振興計画 主要施策	「かかりつけ医」の普及・定着の推進
2024年度 主な取組と成果 （健康医療対策課）	○浜田市ホームページの医療情報として、「かかりつけ医」について掲載し、啓発に努めました。 ○医療連携推進コーディネーター（浜田市医師会所属）が行った市内医療機関へのヒアリングやアンケートを共有することにより、「かかりつけ医」と「中核病院」の機能と役割を整理することができました。
今後の展開 （健康医療対策課）	○多職種連携による勉強会の継続により、かかりつけ医をはじめ、専門職の役割りを明確にします。 ○かかりつけ医として、往診体制、グループ診療など広域的な体制づくりを図ります。

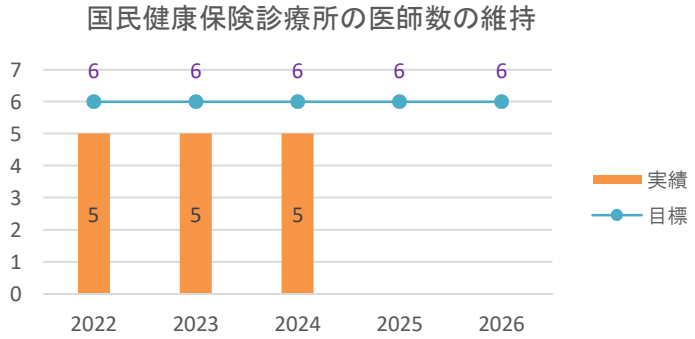
ウ　救急医療体制の充実	
主な事業 □休日診療所管理運営費	
総合振興計画 主要施策	救急医療体制の充実
2024年度 主な取組と成果 （健康医療対策課）	○休日での一次医療の役割を担うとともに、中核病院の担う救急医療への集中を緩和することで、市民に対して適切な医療提供を行う体制の維持に寄与しました。
今後の展開 （健康医療対策課）	○引き続き休日における一次医療の役割を果たします。

エ　へき地医療確保体制の充実

主な事業
□地域医療連携事業【医療従事者等の充実】

総合振興計画 主要施策	へき地医療体制の充実
2024年度 主な取組と成果 （健康医療対策課）	○島根県から自治医科大学卒業の医師の派遣が実現するとともに、島根県や島根大学医学部附属病院、浜田市医師会等からの代診医の支援を受け、診療日数及び医療サービスの提供は維持できました。 ○一方、専攻医（非常勤医師）の受入期間が短かったこと、代診医の派遣の不足部分があったことなどにより、診療所医師が行政に関わる部分、調査研究に費やす時間等が削られました。
今後の展開 （健康医療対策課）	○これまでの医師育成などの取組みから、2025年度より地域枠推薦出身医師を初めて採用しました。 ○専攻医の受入れができるよう、引き続き医学生や臨床研修医への働きかけを続けます。 ○島根県から医師の派遣を受け、医療サービスが維持できている間に、専攻医の継続受入れや常勤医確保を行い、持続可能な体制を構築します。

	代表的な目標	策定時 現状値 （2020年度）	目標値 （2024年度）	実績値 （2024年度）	達成率 （%）	進捗評価
1	**国民健康保険診療所の医師数の維持** （中山間地域の医療を支える診療所の医師数）	6人役	6人役	5人役	－	C

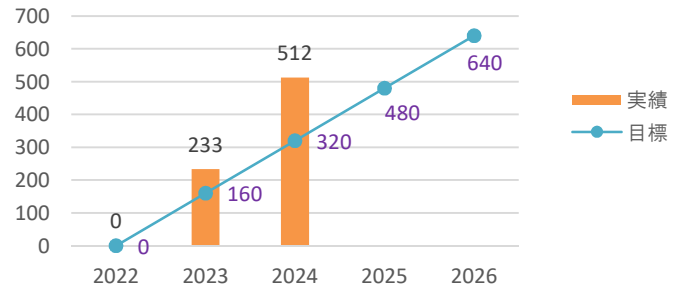


B 福祉

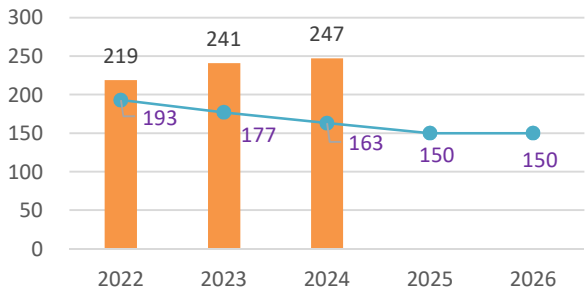
ア 子育て支援環境の整備	
主な事業・取組 □安心お産応援事業 □乳幼児等健康診査事業 □保育所入所受入促進事業 □次世代育成支援事業 □放課後児童クラブ設置事業 □子育て支援センター運営事業 □地域子育て支援拠点事業 □子育て世代包括支援センター事業	
総合振興計画 主要施策	健やかな育ちに向けた支援
2024年度 主な取組と成果 （子ども･子育て支援課）	○市内教育・保育施設の研修等に幼児教育専門アドバイザーを派遣し、幼児教育力向上のための講演会及び演習等を行いました。（派遣施設：21施設、研修参加者：延べ279人） ○2024年度から母子保健機能（旧子育て世代包括支援センター）及び児童福祉機能（旧子ども家庭総合支援拠点）双方の機能を一体的に行う「こども家庭センター」を設置し、母子保健・児童福祉の両機能の連携・協働を深め、切れ目のない支援を実施しました。また、乳幼児健診や子育て講座等を通し、子どもが健やかに成長し、発育することができるよう疾病の予防とともに健康的な生活習慣づくりへの支援を行いました。
今後の展開 （子ども･子育て支援課）	○引き続き教育・保育施設の研修等に対する浜田市幼児教育センターの職員派遣や教育・保育施設職員に対する研修会を開催するなど、市全体の幼児教育の推進に取組みます。 ○こども家庭センターにおいて、母子保健・児童福祉の両機能を一体的に行い、虐待の予防的な対応から、個々の家庭に応じた支援の切れ目ない対応など相談支援体制の強化に取り組みます。 ○引き続き、センター内及び各関係機関と連携し、心身面や育児状況等への相談、支援を実施します。
総合振興計画 主要施策	ゆとりある子育てへの支援
2024年度 主な取組と成果 （子ども･子育て支援課）	○保育環境の改善のため、園の建て替え及び大規模修繕を行う保育所に対して事業費の一部を補助しました。（3施設）また、保育士の専門性向上を目的とした研修会を幼児教育センターが中心となり実施しました。（幼小連携・接続研修） ○新生児子育て応援金支給事業については、第1子86人、第2子98人、第3子以降51人の申請を受け、総額24,500千円の支給を行いました。
今後の展開 （子ども･子育て支援課）	○引き続き必要な施設整備に対する補助を実施するとともに浜田市幼児教育センターが中心となり、保育士の専門性の向上を図ります。 ○新生児子育て応援金支給事業については、引き続き市民への周知に取り組みます。
総合振興計画 主要施策	安心･安全な子育て環境の整備
2024年度 主な取組と成果 （子ども･子育て支援課）	○出会い・結婚・出産・子育て応援事業所認定事業については、1事業所に認定証を交付しました。 ○地域子育て支援拠点施設の事業や講習会参加者、また地域の子育て広場等で、ファミリー・サポート制度の周知活動を行い、提供（まかせて）会員の増加につながりました。
今後の展開 （子ども･子育て支援課）	○引き続き出会い・結婚・出産・子育て応援事業所認定事業の周知に取り組みます。 ○地域子育て支援拠点施設を利用しての援助活動が増加しているため、引き続き依頼会員・提供会員共に安心した援助活動につながるよう、子育て支援の環境づくりに取り組みます。

	代表的な目標	策定時 現状値 （2020年度）	目標値 （2024年度）	実績値 （2024年度）	達成率 （%）	進捗評価
2	**幼児教育センターが実施する研修参加者数** （2023年度設置の浜田市幼児教育センターが実施する研修参加者数の令和5～8年度の累計）	年間0人	320人	512人	160.0%	A
3	**病児・病後児保育室利用者数の増加** （病児・病後児保育室の年間延べ利用者数）	16人	163人	247人	151.5%	A
4	**第3子以降新生児子育て応援金交付件数の増加** （新生児子育て応援金（第3子以降）交付件数の令和4～8年度の累計）	年間0件	260件	185件	71.2%	B
5	**地域子育て支援拠点利用者数の増加** （地域子育て支援拠点（4施設）を利用した親と子の年間延べ利用者数）	17,246人	19,500人	20,995人	107.7%	A

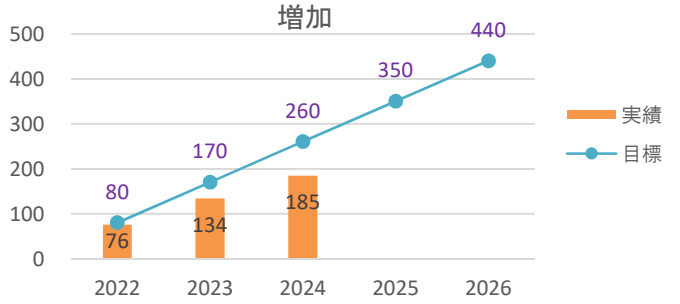
幼児教育センターが実施する研修参加者数



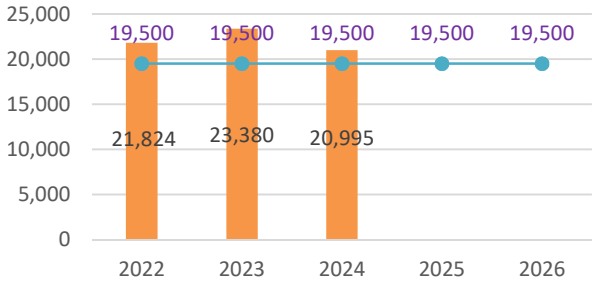
病児・病後児保育室利用者数の増加



第3子以降新生児子育て応援金交付件数の増加



地域子育て支援拠点利用者数の増加



イ　高齢者･障がい者福祉サービスの充実

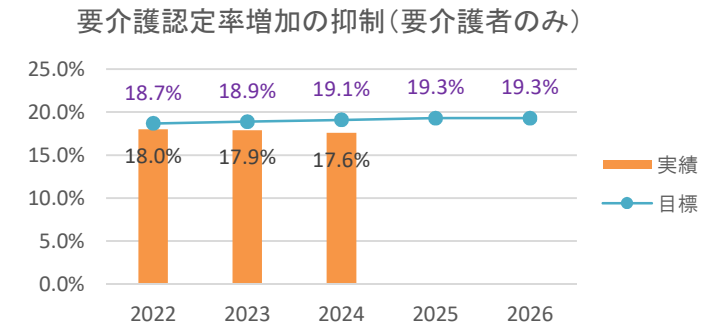
主な事業
□地域包括支援センター運営事業
□介護予防・日常生活支援総合事業
□地域生活支援事業【相談支援事業】
□地域生活支援事業【基幹相談支援センター運営事業委託】
□高齢者福祉サービス事業
□在宅介護支援事業
□介護予防教室開設準備経費等支援事業
□高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
□包括的支援事業

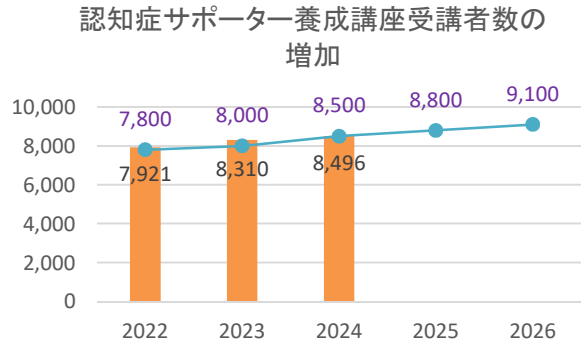
総合振興計画 主要施策	地域包括ケアシステムの構築
2024年度 主な取組と成果 （健康医療対策課）	○地域包括支援センターの機能強化としての4事業、①介護予防ケアマネジメント業務②総合相談支援事業③権利擁護業務④包括的・継続的ケママネジメント支援業務は、社協包括と連携しながら、定期的な会議等を重ね役割分担しました。 ○地域ケア会議は、市民ニーズの把握や、包括への相談ケース等を事例に上げ、地域課題の整理ができました。
今後の展開 （健康医療対策課）	○総合相談支援体制の強化とともに、高齢者とその家族及び地域住民の身近な相談拠点に合わせて専門職、民生委員、生活支援コーディネーター等と連携し地域の課題解決に向けて包括ケアを推進して行きます。 ○権利擁護など専門的なアドバイス、相談体制が受けれる包括に窓口も広げていきながら相談体制の強化を図ります。
総合振興計画 主要施策	介護予防と生活支援体制の充実
2024年度 主な取組と成果 （健康医療対策課）	○介護予防普及啓発事業として、百歳体操を中心に通いの場を通じて運動普及の周知を図るとともに、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施により、医療・介護・予防取組をデータに基づき、地域での健康教室に活かした取組ができました。また医療未受診、検診未受診者に対しての把握訪問、介護予防把握事業における基本チェックリストを活用した事業を展開することで個別に支援の必要な方への対応を実施しました。 ○生活支援体制整備は、ＳＣを2名から4名に増やし、生活圏域での地域課題の吸い上げとして、地域ケア会議等で、高齢者の生活に必要なツール等に繋げていく体制を整えました。 ○高齢者自身が活用できるための紙ベースの高齢者お役立ち情報（地域お助けブック）を作成・更新し周知を図りました。
今後の展開 （健康医療対策課）	○介護予防普及啓発事業として、引き続き百歳体操を中心とした運動普及の周知と、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施により、医療・介護・予防取組をデータに基づき、ポピュレーション、ハイリスクアプローチの継続を図ります。 ○生活支援体制整備は、圏域ごとの地域課題に基づく活動を引き続き行い、生活介護、介護予防、高齢者のボランティア・就労支援、通いの場へのアプローチ等を強化します。
総合振興計画 主要施策	認知症高齢者支援施策の充実
2024年度 主な取組と成果 （健康医療対策課）	○サポーター養成講座の開催の継続と、認知症施策を総合的に展開するために、認知症地域支援推進員の増員及び、外部委託することで認知症に対する正しい知識の普及啓発、子どもから高齢者まで世代を超えての学びの場を確保できました。チームオレンジ・オレンジカフェ等の立ち上げのためのニーズ把握等を進めました。目標値8,500人にはわずかに及びませんでしたが、企業や地域、学校等、幅広い対象に認知症サポーター養成講座を実施しており、受講者数は年々増加しています。 ○認知症初期集中支援チームでは、連携シートを作成し、早期医療・介護に繋がる様な支援体制づくりに努めました。
今後の展開 （健康医療対策課）	○サポーター養成講座の開催の継続と、認知症施策を総合的に展開するために、認知症地域支援推進員の外部委託により、幅広い世代への学習会の展開を図ります。 ○新規のチームオレンジの立ち上げ、認知症カフェ等の相談体制の強化を図ります。

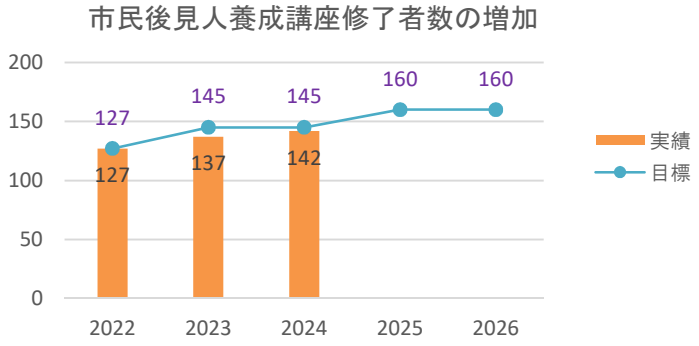
総合振興計画 主要施策	生涯現役のまちづくり
2024年度 主な取組と成果 （健康医療対策課）	○生涯現役のまちづくりを推進するため、浜田市高齢者クラブ連合会を通して、健康づくりや各種スポーツ大会、子どもや高齢者の見守り活動に対する支援を行いました。 ○島根県立大学との共同研究の一環として、高齢者クラブの実態調査を行いました。高齢者クラブを取り巻く現状を踏まえ、実態と問題を明らかにし、効果的な活動促進につなげることを目的に、対象会員1,224名（回答750名）、非会員1,000名（回答475名）ほか調査実施。2月の研究成果活動報告会には、今後の活動の参考になるよう、クラブの代表等が参加しました。 ○浜田市シルバー人材センターを通じて、高齢者の能力が発揮できる就業の場の確保に努めました。
今後の展開 （健康医療対策課）	○高齢者クラブを地域づくりの担い手として位置付け、高齢者の社会参加や生きがい対策の取組を支援します。また、シルバー人材センターについても地域の高齢者が働くことを通じて社会貢献を目的とし、引き続き会員確保等の支援を行います。
総合振興計画 主要施策	地域における障がい福祉サービスの充実
2024年度 主な取組と成果 （地域福祉課）	○浜田圏域自立支援協議会の各部会、ワーキング等を通じて関係機関と連携し、グループワークや事例検討を行いながら、圏域の課題抽出や課題解決方法を検討を行いました。
今後の展開 （地域福祉課）	○引き続き浜田圏域自立支援協議会を中心に課題整理や支援方法の検討を行い、圏域の福祉サービス充実を図ります。
総合振興計画 主要施策	障がいのある人一人一人の自立と社会参加の促進
2024年度 主な取組と成果 （地域福祉課）	○関係機関と連携の上、支援が必要な児童等の早期発見に努め、早い段階から適切なサービスが受けられる体制整備を行いました。 ○浜田圏域自立支援協議会における就労支援部会を中心として、就労支援団体、事業所、養護学校、職安のほか、市内一般企業とも情報共有を行い、障がいがある人の就労促進を行いました。
今後の展開 （地域福祉課）	○引き続き浜田圏域自立支援協議会における就労支援部会を中心として関係機関等と連携を行い、市内一般企業とも顔の見える関係づくりを行う取組を継続します。
総合振興計画 主要施策	共に生きるバリアフリー社会の実現
2024年度 主な取組と成果 （地域福祉課）	○浜田市障がいのある人もない人も共に生きることができるまちづくり条例の理念に基づき、手話通訳の派遣事業や障がい者雇用優良事業所顕彰事業表彰、障がい者差別解消等に関する市長表彰を実施し、障がいのある人もない人もお互いに理解し合える共生社会の実現に努めました。 ○浜田市健康福祉フェスティバルにおいて、障がい者等への理解を深めるために講演会等事業を実施し、普段イベントに足を運ばれない方に来場いただくことで福祉の推進を図りました。
今後の展開 （地域福祉課）	○関係機関等と連携の上、バリアフリーや障がい者差別解消等の活動を推進し、より多くの方に障がいの理解が深まるよう事業推進を図ります。

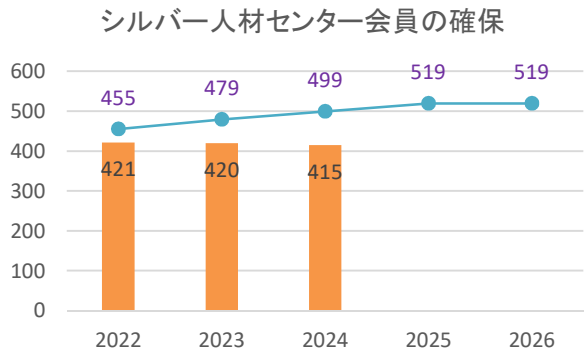
	代表的な目標	策定時 現状値 （2020年度）	目標値 （2024年度）	実績値 （2024年度）	達成率 （%）	進捗評価
6	**要介護認定率増加の抑制（要介護者のみ）** (65歳以上の高齢者のうち、要介護1から5までに該当する認定者の割合)	18.4%	19.1%	17.6%	-	A
7	**認知症サポーター養成講座受講者数の増加** (認知症の人と家族を地域で見守る応援者養成講座の受講者の総数)	7,392人	8,500人	8,496人	99.9%	B
8	**市民後見人養成講座修了者数の増加** (親族後見人と専門職後見人の中間的存在として位置付けられる市民後見人養成講座の修了者の総数)	108人	145人	142人	97.9%	B
9	**シルバー人材センター会員の確保** (浜田市シルバー人材センターに登録された会員数)	429人	499人	415人	83.2%	B

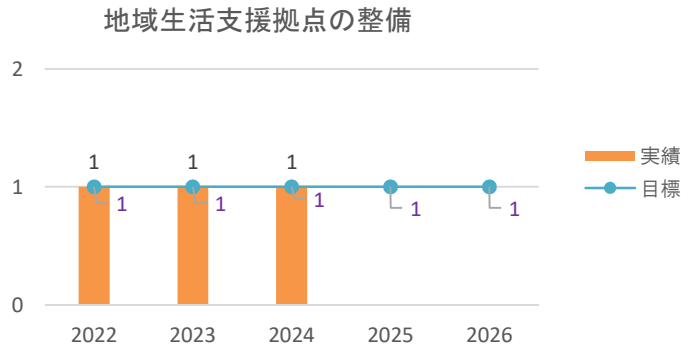
10	**地域生活支援拠点の整備** (障がい者の地域生活を支援する機能を集約した拠点数)	0か所	1か所	1か所	100.0%	評価しない
11	**福祉施設から一般就労への移行** (就労系の障がい福祉サービスから一般就労へ移行した者の数（単年度）)	4人	16人	7人	43.8%	C
12	**手話通訳奉仕員登録者数の増加（手話通訳士・者含む）** (手話通訳奉仕員登録者数)	62人	78人	99人	126.9%	A

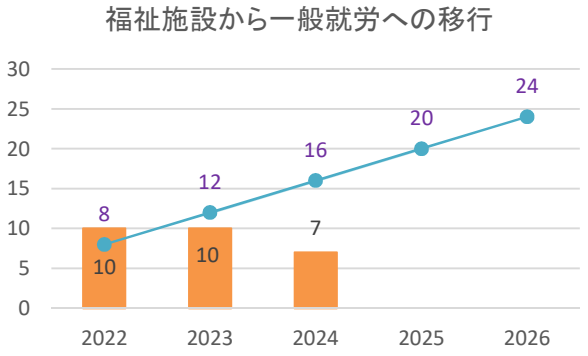


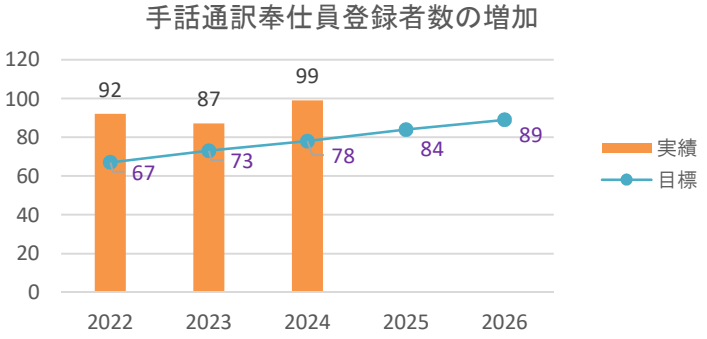












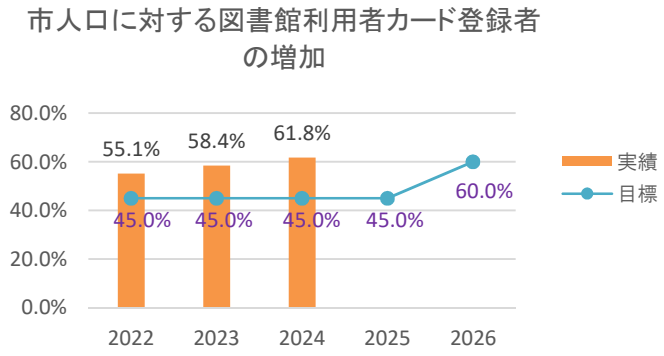
C 教育

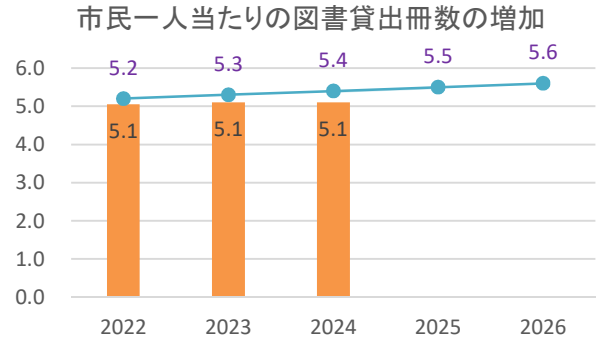
ア 読書活動の強化

主な事業
□図書館管理運営費【図書館ネットワークシステム】
□図書館管理運営費【移動図書館車】
□学校司書等配置事業

総合振興計画 主要施策	図書館サービスの充実
2024年度 主な取組と成果 （教育総務課）	○引き続き、多様な分野の図書収集に努め、蔵書数は前年度から8,288点増え、311,714冊になりました。また、多様なニーズに対応するため電子書籍の収集にも努め、コンテンツ数は前年度2,075点から2,191点と116点増えました。 ○レファレンスサービス向上のため郷土資料研修等各種研修を実施しました。 ○ボランティアの皆さんと協働して、おはなし会や各種イベントや館内展示などを行い、読書活動の推進に取り組みました。また、読み聞かせボランティアの方を対象にWSを開催し、現状や課題等を情報共有を行いました。
今後の展開 （教育総務課）	○引き続き、利用者のニーズの把握に努め、魅力ある蔵書の収集に努めるとともに、研修を実施しレファレンスサービスの向上に努めます。 ○ボランティアの皆さんとの連携を図りながら、読書活動推進に取り組み、魅力ある図書館づくりに努めます。

	代表的な目標	策定時 現状値 （2020年度）	目標値 （2024年度）	実績値 （2024年度）	達成率 （%）	進捗評価
13	**市人口に対する図書館利用者カード登録者の増加** （市民の図書館利用者カード登録者の割合）	42.5%	45.0%	61.8%	137.3%	A
14	**市民一人当たりの図書貸出冊数の増加** （市民一人当たりの年間の図書貸出冊数）	4.9冊	5.4冊	5.1冊	94.4%	B



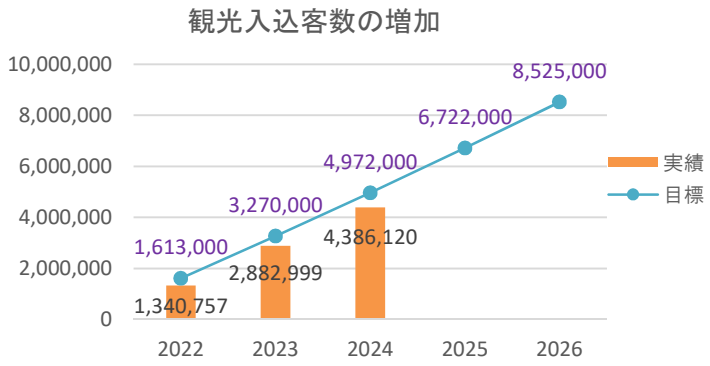


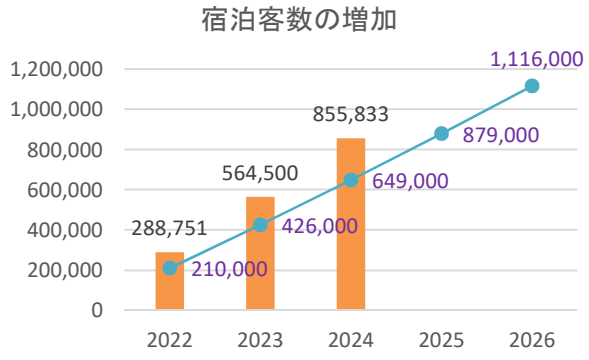
D 産業振興

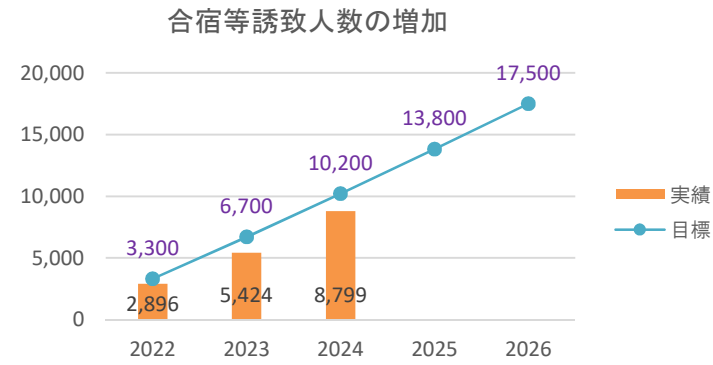
ア 観光振興	
主な事業・取組 □石見神楽振興事業 □合宿等誘致事業	
総合振興計画 主要施策	滞在型観光の推進と受入体制の確保
2024年度 主な取組と成果 （観光交流課）	○「石見神楽」を軸に「温泉」「食」の魅力を観光協会と連携して情報発信に努め、誘客促進に取り組みました。 ○特に温泉については、官民一体でＰＲに努め、温泉総選挙2024において、美又温泉が美肌部門で1位、旭温泉が歴史／文化部門で1位となり、すぐれた泉質を踏まえた魅力を全国に周知できました。 ○観光協会においては、新たな特産品の開発・販売により自主財源の確保に努め、体制の強化を図りました。 ○千畳苑は、公共施設再配置計画において民間譲渡の方針となっていることを踏まえ、民間のノウハウを活用し、より一層魅力的な施設となるよう、公募型プロポーザルを実施し、優先交渉権者を選定しました。 ○「食」の取組では、地域活性化起業人による情報発信やイベント等により、各種ＰＲ事業を行いました。
今後の展開 （観光交流課）	○「石見神楽」「温泉」「食」を活用し、この地域の魅力をよりよく知ってもらえるように情報発信に努め、滞在型観光の推進を図ります。 ○観光協会については、既存事業の見直しを検討し、受け入れ態勢の充実を図ります。 ○千畳苑の譲渡については、2026年4月の譲渡に向けて契約を締結し、議会へ関連議案を上程します。 ○「食」については、地域活性化起業人の派遣が終了したため、新たな食の取組を検討します。
総合振興計画 主要施策	イベント等の開催や合宿等の誘致
2024年度 主な取組と成果 （観光交流課）	○交流人口拡大に向け、アフターコロナ時代におけるリアルイベントとなるよう各種イベントの内容を見直し実施しました。 ○水産関連を中心とした「島根イタリー」や「あじ祭り」が開催され、情報発信に協力し、市内外からの集客に努めました。 ○合宿の誘致については、中国地方の高等学校を中心に合宿案内を郵送し、新規の利用者確保に努めました。
今後の展開 （観光交流課）	○新市誕生20周年を機に、さらなる交流人口の拡大を図り、誘客の確保に努めます。イベントについては、認知度も高まっているため引き続き開催いたします。 また、合宿誘致については、制度の見直しを検討し、利用促進を図ります。
総合振興計画 主要施策	「石見神楽交流人口」の拡大
2024年度 主な取組と成果 （観光交流課）	○石見神楽については、市の貴重な文化資源であるとともに、観光戦略においても重要な柱として、石見神楽の魅力発信により認知度を向上させ、誘客に繋がるよう振興を図りました。 ○認知度向上対策として、東京富岡八幡宮での石見神楽上演や御堂筋ランウェイへ出演しました。 ○本市への誘客の取組みとしては、石見神楽産業を巡るツアーの販路開拓を行い、大手旅行会社の商品として販売されています。また、ツアーの多言語WEBサイトや動画を作成しました。 ○浜田の夜神楽週末公演の来場者数については、年間来場者数が昨年に比べ約17%増加しましたが、目標の数値を達成できませんでした。 ・浜田の夜神楽週末公演（1回公演平均54人、県外率66.3%） ・石見神楽出張上演　37回 ・日本遺産石見神楽保存・継承支援事業補助金（12団体採択、19,587,000円）
今後の展開 （観光交流課）	○大阪・関西万博での石見神楽公演を実施し、更なる認知度向上を図ります。 また、引き続き、浜田の夜神楽週末公演や石見神楽出張上演事業を行うとともに、神楽産業を巡るツアーの販売拡大に取り組み、インバウンドを含め石見神楽を軸とした誘客に取り組みます。 ○日本遺産石見神楽保存・継承支援事業補助金等による神楽団体、神楽産業の振興に取り組みます。

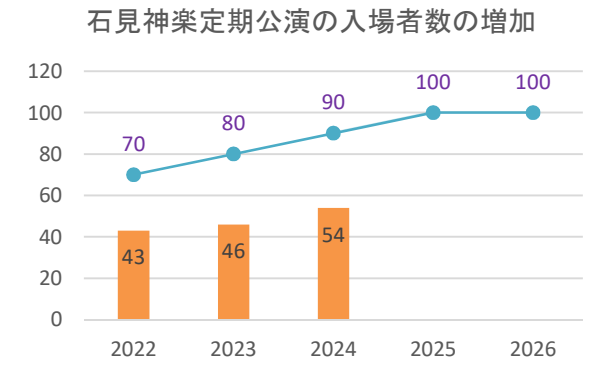
総合振興計画 主要施策	地域間交流、国際交流の推進
2024年度 主な取組と成果 （観光交流課） （定住関係人口推進課）	○島村抱月が作曲したカチューシャの唄を縁とした交流を行う「ララ会」や驛鈴を通じた交流を行う「驛鈴でつなぐ友好の会＊浜田」の相互交流を支援し、交流人口の拡大を図りました。（観光交流課） ○「食」の取組として邑南町と連携し、広島市をターゲットとしたイベントを実施しました。（観光交流課） ○国際交流活動を行う民間団体へ支援を行いました。（定住関係人口推進課）
今後の展開 （観光交流課） （定住関係人口推進課）	○活動団体の相互交流の一層の推進を引き続き支援することで、交流人口の拡大を図ります。（観光交流課） ○浜田市と邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協定に基づいた事業に取り組みます。（観光交流課） ○引き続き民間団体へ支援を行うとともに、活動内容について相談に応じ、多文化共生社会の実現に努めます。（定住関係人口推進課）

	代表的な目標	策定時 現状値 （2020年度）	目標値 （2024年度）	実績値 （2024年度）	達成率 （%）	進捗評価
15	**観光入込客数の増加** （市内主要施設等の年間（1月～12月）観光入込客数の令和4～7年の累計）	年間 938,866人	4,972,000人	4,386,120人	88.2%	B
16	**宿泊客数の増加** （市内のホテル・旅館・民宿等の年間（1月～12月）宿泊者数の令和4～7年の累計）	年間 209,006人	649,000人	855,833人	131.9%	A
17	**合宿等誘致人数の増加** （合宿等誘致促進事業の年間利用人数の令和4～8年度の累計）	年間478人	10,200人	8,799人	86.3%	B
18	**石見神楽定期公演の入場者数の増加** （年間平均入場者数）	33人	90人	54人	60.0%	B







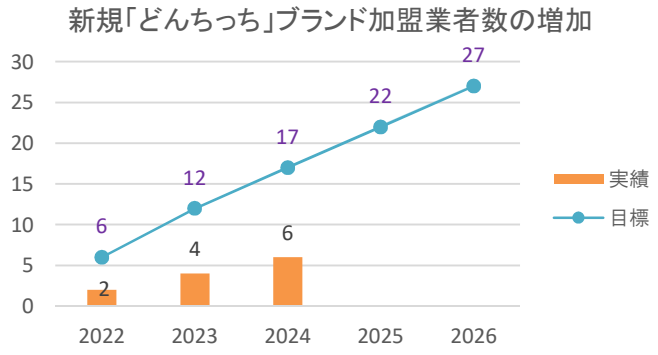


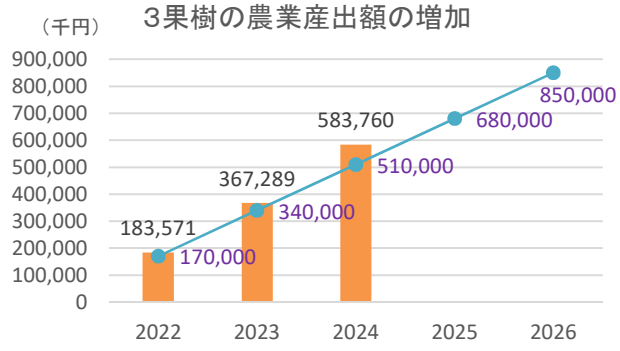
イ　地域ブランド化

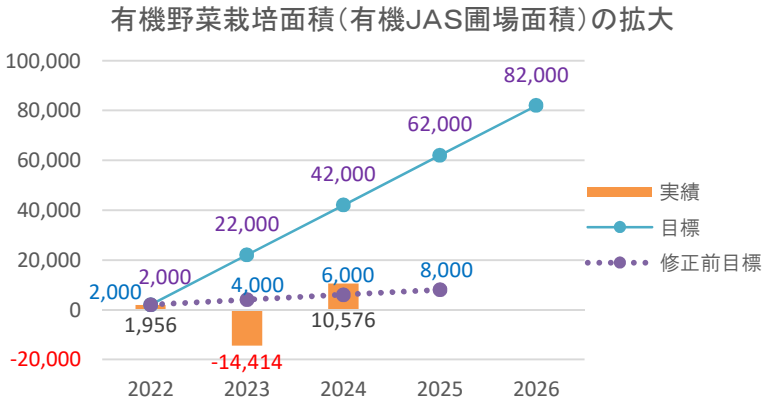
主な事業・取組
□「山陰浜田港」水産物ブランド化推進事業
□内水面漁業振興事業
□担い手等育成支援事業【産地振興事業】
□有機野菜等農業用ハウス整備支援事業

総合振興計画 主要施策	販路拡大対策
2024年度 主な取組と成果 （水産振興課）	○どんちっちブランドは、2024年3月に生産者、仲買事業者及び市担当者が豊洲市場の大卸事業者を訪問し、意見交換を行うとともに、シーズンを迎える「どんちっちアジ」の更なる販売促進をお願いしました。 ○「浜田港四季のお魚」に認定される「アンコウ」のＰＲとして、Sea級グルメ全国大会in境港に「浜田アンコウとノドグロ旨み焼売」を出品し、水産ブランドのＰＲを行いました。 ○水産物についての理解を深め、魚食の推進を図るため、お魚検定「山陰浜田港びぃびぃマスター検定」を開催しました。 ○上記のほか、四季のお魚カレンダーの作成やＢＢ大鍋フェスティバルなどのイベント開催支援、市外で開催されるイベントでの水産物のＰＲ販売などを展開し、水産ブランドのＰＲを行いました。
今後の展開 （水産振興課）	○浜田港四季のお魚ブランドの取組を始めて、10年が経過したことに伴い、対象魚種の更新を行います。更新後は認知度向上に向けた取組を推進します。 ○どんちっちブランド加盟業者の増加に向けて、浜田市水産物ブランド化戦略会議と連携し、飲食店や小売店等への営業活動による販路開拓に取り組みます。Sea級グルメ全国大会in青森などの市外・県外のイベント出店、はまだお魚市場周辺での「水産物と食」をテーマとした各種イベントの実施、お魚検定やお魚料理教室などの魚食普及活動などを通じて、水産ブランドのＰＲを行います。
総合振興計画 主要施策	儲かる農業の推進
2024年度 主な取組と成果 （農林振興課） （商工労働課）	○担い手等育成支援について、担い手育成事業を12件（9,470千円）、産地振興事業を23件（12,052千円）実施しました。（農林振興課） ○ふるさと農業研修生育成事業については、2023年4月に1人（1,800千円）、研修を行いました。（農林振興課） ○中核的経営体等育成支援事業については4件（8,366千円）支援しました。（農林振興課） ○学校給食でのＰＲ（小学校13校、中学校7校で給食時にテーマソングを放送）や市内小中学校でＢＵＹ浜田についての出前授業(小学校７校、中学校4校）を実施しました。（商工労働課）
今後の展開 （農林振興課） （商工労働課）	○引き続き、有機農業の面積拡大や所得目標を達成できる経営体を育成するため、各種補助事業による支援、就農希望者の確保や新規就農者の育成等を行います。（農林振興課） ○引き続き、学校給食や市内小中学校でＢＵＹ浜田運動についての周知に努め、浜田産品の消費拡大を目指します。（商工労働課）

	代表的な目標	策定時 現状値 （2020年度）	目標値 （2024年度）	実績値 （2024年度）	達成率 （%）	進捗評価
19	**新規「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加** （新規「どんちっち」ブランド加盟業者数の令和4～8年度の累計）	年間3店	17店	6店	35.3%	C
20	**３果樹の農業産出額の増加** （振興作物（大粒ぶどう、赤梨、西条柿）の農業産出額の令和4～8年度の累計）	年間107,182 千円	510,000 千円	583,760 千円	114.5%	A
21	**有機野菜栽培面積（有機ＪＡＳ圃場面積）の拡大** （有機野菜栽培の拡大面積の令和4～8年度の累計） （令和5年度目標値見直し）	年間0㎡	42,000㎡	10,576㎡	25.2%	C







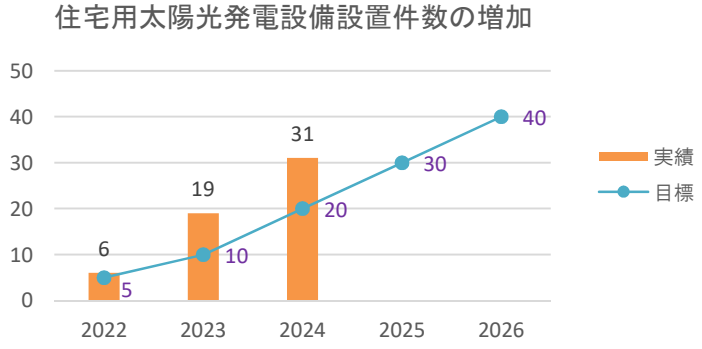
E 環境

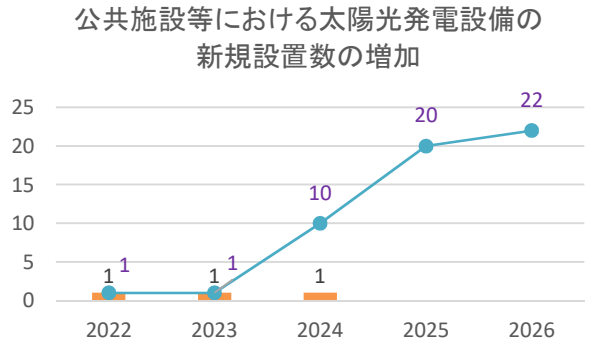
ア 地球温暖化対策の推進

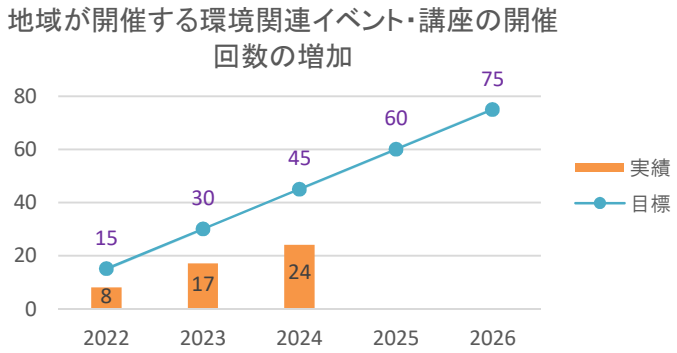
主な事業・取組
□市民と共に学ぶ環境づくり事業
□地域の再エネ導入支援事業

総合振興計画 主要施策	**再生可能エネルギーの導入及び省エネルギーの推進**
2024年度 主な取組と成果 （環境課）	○太陽光7件、蓄電池6件、木質バイオマス4件の計17件の補助を行いました。 ○別枠の若者ファンド事業で、太陽光5件、蓄電池7件の計12件の補助もしました。 ○環境啓発番組を計6本制作し、ケーブルテレビで放送、YouTubeで配信を行いました。また、ごみ分別アプリにクイズ・スタンプラリー機能を追加し、市民が脱炭素について学ぶ環境を整備しました。
今後の展開 （環境課）	○引き続き再生可能エネルギー設備の導入の支援、環境啓発番組の放送・配信、脱炭素クイズの配信を行います。 ○EV普及の取り組みの一環として公共施設へEV充電器の設置を行います。
総合振興計画 主要施策	**エコライフスタイルの推進**
2024年度 主な取組と成果 （環境課）	○一般市民311人、公共施設39施設へゴーヤ苗とたい肥の配布を行いました。 ○学校と連携した環境教育として出前授業と清掃活動を行いました。
今後の展開 （環境課）	○引き続きゴーヤ苗の無料配布を行います。 ○学校等と連携し、子どもを対象とした環境教育の場を増やします。

	代表的な目標	策定時 現状値 （2020年度）	目標値 （2024年度）	実績値 （2024年度）	達成率 （%）	進捗評価
22	**住宅用太陽光発電設備設置件数の増加** （住宅用太陽光発電設備設置補助金の令和4～8年度の通算補助件数）	年間3件	20件	31件	155.0%	A
23	**公共施設等における太陽光発電設備の新規設置数の増加** （公共施設等における太陽光発電設備の令和4～8年度の通算新規設置数）	年間0施設	10施設	1施設	10.0%	C
24	**地域が開催する環境関連イベント・講座の開催回数の増加** （エコライフ推進隊の会員や民間等が開催する環境関連イベント・講座の令和4～8年度の通算開催回数）	年間9回	45回	24回	53.3%	B





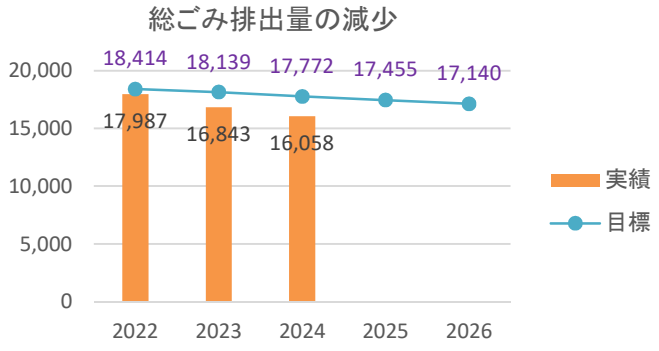


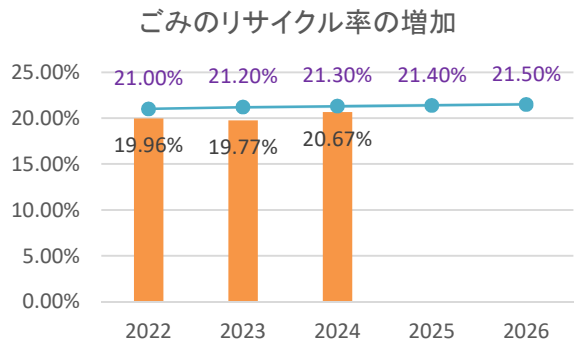
イ　ごみの減量化や資源化の推進

主な事業・取組
□エコライフ推進事業

総合振興計画 主要施策	4つの「R」によるごみの減量化の推進
2024年度 主な取組と成果 （環境課）	○HAMADAごみ分別アプリ等を活用した情報発信に努めました。 ○町内会や県立大学生に対し出前講座を実施しました。
今後の展開 （環境課）	○引き続き市民に分かりやすい情報発信に努めます。

	代表的な目標	策定時現状値（2020年度）	目標値（2024年度）	実績値（2024年度）	達成率（%）	進捗評価
25	総ごみ排出量の減少 （年間の総ごみ排出量）	19,370t	17,772t	16,058t	110.7%	A
26	ごみのリサイクル率の増加 （（直接資源化量＋中間処理後資源化量）÷総ごみ排出量）	20.27%	21.30%	20.67%	97.0%	B





F　防災

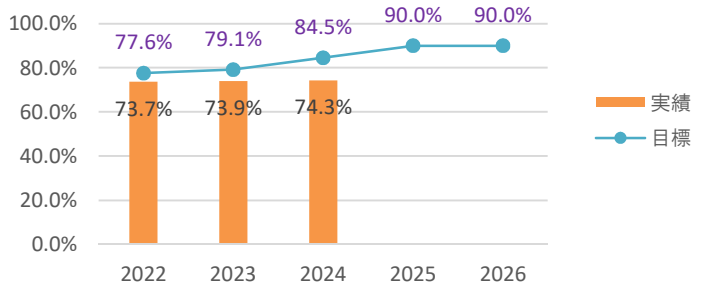
ア　安全で安心なまちづくり

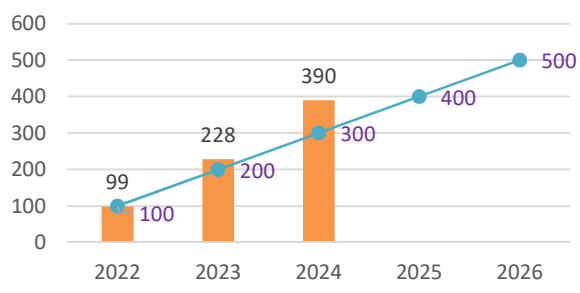
主な事業・取組
□地域安全まちづくり事業【自主防災組織関係・出前講座】
□防災まちづくり推進事業【自主防災組織関係】

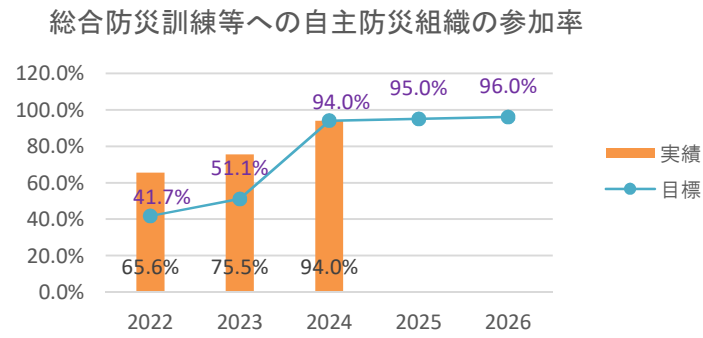
総合振興計画 主要施策	地域防災力の向上

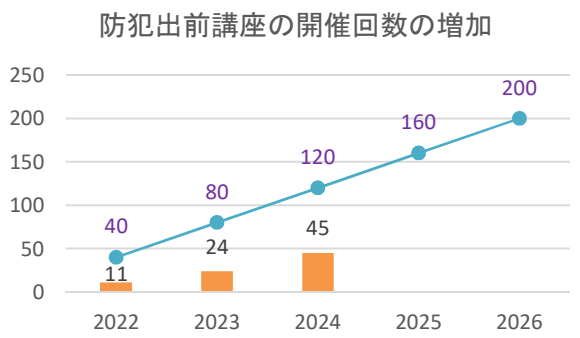
2024年度 主な取組と成果 （防災安全課） （地域福祉課）	○自主防災組織設立に係る費用の補助金を3団体に交付し、自主防災組織設立に努め、新たに6団体の設立に至りました。さらに、自主防災組織の中心人物として防災士の養成を支援し、新たに13名が防災士資格を取得しました。（防災安全課） ○避難行動要支援者名簿を提供した団体は、自主防災組織が6団体増え、地域の関係者団体（自主防災組織111、地区まちづくり推進委員会・自治会・町内会105、社協1）計217団体になりました。また、個別避難計画の策定を促進するため、説明を希望する自主防災組織（5団体）への説明を行いました。（地域福祉課）
今後の展開 （防災安全課） （地域福祉課）	○防災出前講座等での啓発や補助金交付等により、引き続き、自主防災組織の設立・活動支援、防災士の養成を行います。（防災安全課） ○引き続き、関係団体数の増加への取組を続けていきます。（地域福祉課）
総合振興計画 主要施策	**災害応急活動体制の整備**
2024年度 主な取組と成果 （防災安全課）	○能登半島地震を踏まえ、増量した食料等の納品を追加で行いました。
今後の展開 （防災安全課）	○能登半島地震を踏まえ、食料等の備蓄目標数量の方針に沿って、引き続き、備蓄品の管理を行います。
総合振興計画 主要施策	**地域における防犯意識の高揚と犯罪のない地域社会の形成**
2024年度 主な取組と成果 （防災安全課）	○10月26日「浜田市いのちと安全安心の日」に、島根県立大学防犯サークルSCOTと協力し、地域防犯活動を推進するための催し「はまだ灯2024」を開催しました。併せて広報誌、防災防犯メール等の広報媒体を活用した防犯活動の啓発を行いました。 ○交通安全教室や防災イベントなど、あらゆる機会を通じて、防犯出前講座としての啓発活動を実施し、防犯意識の高揚を図りました。 ○防災出前講座や、警察が実施する防犯・交通安全講座との連携により、前年度と比較すれば件数は増加し、目標に近い件数を達成することができました。今後も、市民への周知活動を積極的に行うこととします。
今後の展開 （防災安全課）	○2025年10月26日「浜田市いのちと安全安心の日」には、浜田市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進大会を開催するとともに、島根県立大学防犯サークルSCOTと協力し、市民による防犯活動の推進を図ります。 ○防犯出前講座については、案内チラシを改善して周知を強化するとともに、件数の多い防災出前講座と共催するなど、様々な機会を利用し、幅広い世代の市民に対する防犯啓発活動として実施します。

代表的な目標		策定時 現状値 （2020年度）	目標値 （2024年度）	実績値 （2024年度）	達成率 （%）	進捗評価
27	**自主防災組織の組織率の増加** （世帯数に対する組織された地域の世帯数の割合）	68.2%	84.5%	74.3%	87.9%	B
28	**防災出前講座の開催回数の増加** （講座の年間開催回数の令和4～8年度の累計）	年間66回	300回	390回	130.0%	A
29	**総合防災訓練等への自主防災組織の参加率** （総合防災訓練等に参加した自主防災組織の割合）	22.8%	94.0%	94.0%	100.0%	A
30	**防犯出前講座の開催回数の増加** （講座の年間開催回数の令和4～8年度の累計）	年間1回	120回	45回	37.5%	C


自主防災組織の組織率の増加
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
77.6%
79.1%
84.5%
90.0%
90.0%
73.7%
73.9%
74.3%
2022
2023
2024
2025
2026
実績
目標


防災出前講座の開催回数の増加
600
500
400
300
200
100
0
99
228
390
100
200
300
400
500
2022
2023
2024
2025
2026


総合防災訓練等への自主防災組織の参加率
120.0%
100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
41.7%
51.1%
94.0%
95.0%
96.0%
65.6%
75.5%
94.0%
2022
2023
2024
2025
2026
実績
目標


防犯出前講座の開催回数の増加
250
200
150
100
50
0
40
80
120
160
200
11
24
45
2022
2023
2024
2025
2026

2 結びつきやネットワークの強化に係る取組

A 地域公共交通

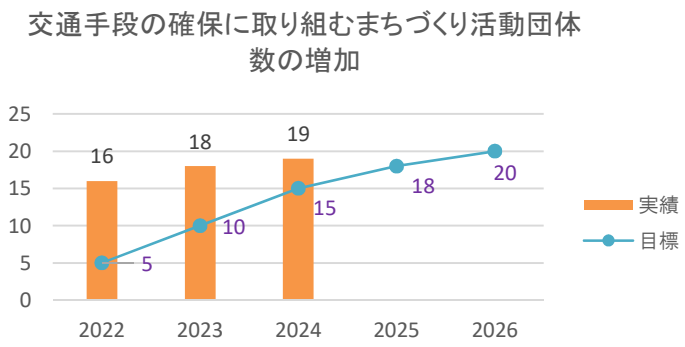
ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

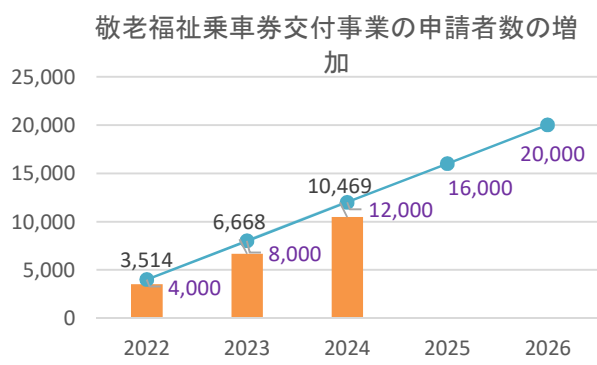
主な事業・取組
□路線バス確保対策事業
□生活路線バス運行事業
□予約型乗合タクシー等運営事業
□地域公共交通確保対策事業

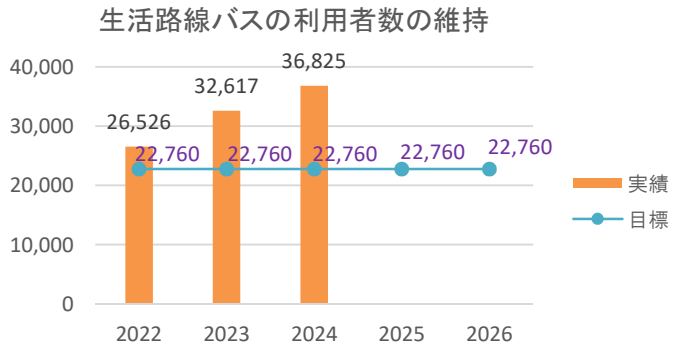
総合振興計画 主要施策	高齢者等のニーズに応じた交通手段の確保
2024年度 主な取組と成果 （まちづくり社会教育課）	○コミュニティワゴン運送支援事業では、自治会輸送を行う町内会等に対して補助金を交付しました。（3団体） ○あいのりタクシー等運行支援事業では、実施した地区まちづくり推進委員会に対して補助金を交付しました。（19団体：89件） ○70歳以上の方に加え、69歳以下の障害者手帳保持者に対して敬老福祉乗車券の販売を行いました。（交付率：24.9%）
今後の展開 （まちづくり社会教育課）	○より地域の実情に応じた事業実施ができるよう相談対応を含め支援を行っていきます。 ○あいのりタクシー等運行支援事業については、未実施地域での導入支援を実施していきます。
総合振興計画 主要施策	効率的で持続可能な交通体系の構築
2024年度 主な取組と成果 （まちづくり社会教育課）	○民間路線バス運行事業者に対して、運行支援を目的とした補助金を交付しました。（2事業者） ○浜田市内各地域において生活路線バス、予約型乗合タクシーの運行を実施しました。（生活路線バス運行事業：20路線、予約型乗合タクシー運行事業：16路線） ○生活路線バスは、民間路線バスの廃止代替交通として浜田路線（有福線）の運行を開始したことにより、全体の利用者数が増加しました。 ○予約型乗合タクシーは、定期利用者の減少により、目標を下回る実績となりました。
今後の展開 （まちづくり社会教育課）	○民間路線バス運行事業者への継続した支援を行うとともに、利用促進にも取り組み、交通の維持確保に努めます。 ○生活路線バス及び予約型乗合タクシーについては、利用状況を踏まえ、廃止や運行時間の変更等、より効率的、効果的な交通体系が構築できるよう見直しを行います。
総合振興計画 主要施策	利用しやすい交通環境の整備
2024年度 主な取組と成果 （まちづくり社会教育課）	○バス停等の破損状況に応じて、修繕等整備を行いました。都度、点検は行いましたが、早急に対応が必要な箇所がなく、1か所の修繕となりました。（1か所） ○年数、距離等の車両状態を踏まえ、更新を行いました。（1車両） ○活性化協議会では、地域の交通状況の情報共有を行うとともに、交通施策の検討を行いました。地域公共交通活性化協議会事業（三隅フェスティバル臨時バス運行事業：1事業、利用促進事業：2事業）
今後の展開 （まちづくり社会教育課）	○安全な運行と利用しやすい環境となるため、バス停整備及び車両更新を継続して実施します。 ○活性化協議会では、公共交通の状況を共有し、より利便性の高い公共交通を実現できるよう検討していきます。

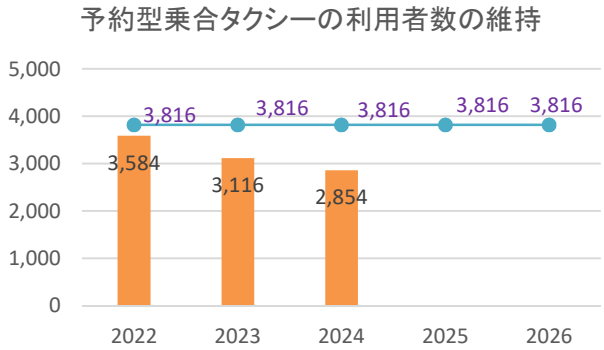
	代表的な目標	策定時 現状値 （2020年度）	目標値 （2024年度）	実績値 （2024年度）	達成率 （%）	進捗評価
31	**交通手段の確保に取り組むまちづくり活動団体数の増加** （コミュニティワゴン運送支援事業又はあいのりタクシー等運行支援事業を活用して交通手段の確保に取り組むまちづくり活動団体の数）	3団体	15団体	19団体	126.7%	A
32	**敬老福祉乗車券交付事業の申請者数の増加** （敬老福祉乗車券交付事業の申請者数の令和4～8年度の累計）	年間 3,176人	12,000人	10,469人	87.2%	B

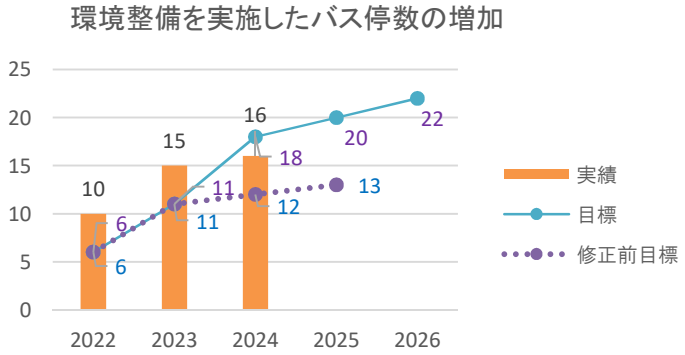
33	**生活路線バスの利用者数の維持** （生活路線バスの年間利用者数）	22，760人	22，760人 以上	36，825人	－	A
34	**予約型乗合タクシーの利用者数の維持** （予約型乗合タクシーの年間利用者数）	3，816人	3，816人 以上	2，854人	－	C
35	**環境整備を実施したバス停数の増加** （市がベンチや上屋の設置等、環境整備に取り組んだバス停数の平成28年度以降の累計）　（令和5、6年度目標値見直し）	6か所	18か所	16か所	88．9%	B
36	**公共交通利用促進策の増加** （公共交通の利用促進を図るために取り組む事業数の令和4～8年度の累計）	年間1事業	10事業	9事業	90．0%	B

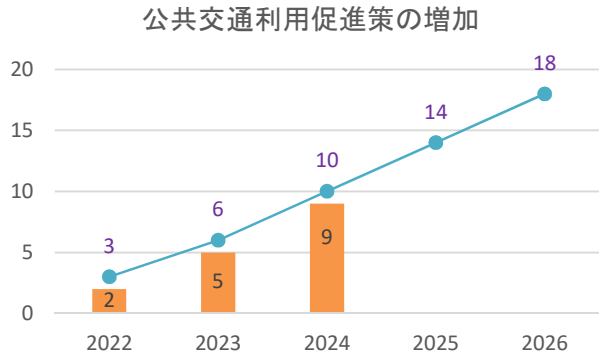










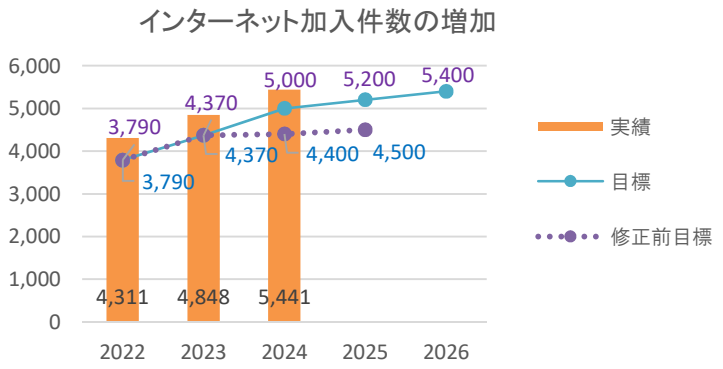


B　デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備

ア　高速情報通信基盤の整備	
主な事業・取組 □高速情報通信基盤整備事業	
総合振興計画 主要施策	情報通信基盤の充実と推進

2024年度 主な取組と成果 （政策企画課）	○市内各地域の引込宅内工事を行うとともに、インターネットの加入者数の増加に努め、概ね全ての工事が完了しました。 ○地域の催し、活動や取り組みなどにスポットを当てた地域情報番組「マイタウンはまだ」を制作し放映を行うことで地域間交流の活性化や地域愛の醸成を図ることができました。
今後の展開 （DX推進課）	○引き続き、新たなインターネット加入者数の増加に努めます。 ○「マイタウンはまだ」について、より幅広い世代が興味を引くような番組となるよう石見ケーブルビジョンと協力しながら内容の改善等を図っていきます。

	代表的な目標	策定時 現状値 （2020年度）	目標値 （2024年度）	実績値 （2024年度）	達成率 （%）	進捗評価
37	インターネット加入件数の増加 （ケーブルテレビの通信回線契約世帯数） （令和5、6年度目標値見直し）	3,650件	5,000件	5,441件	108.8%	A



C　道路等の交通インフラの整備

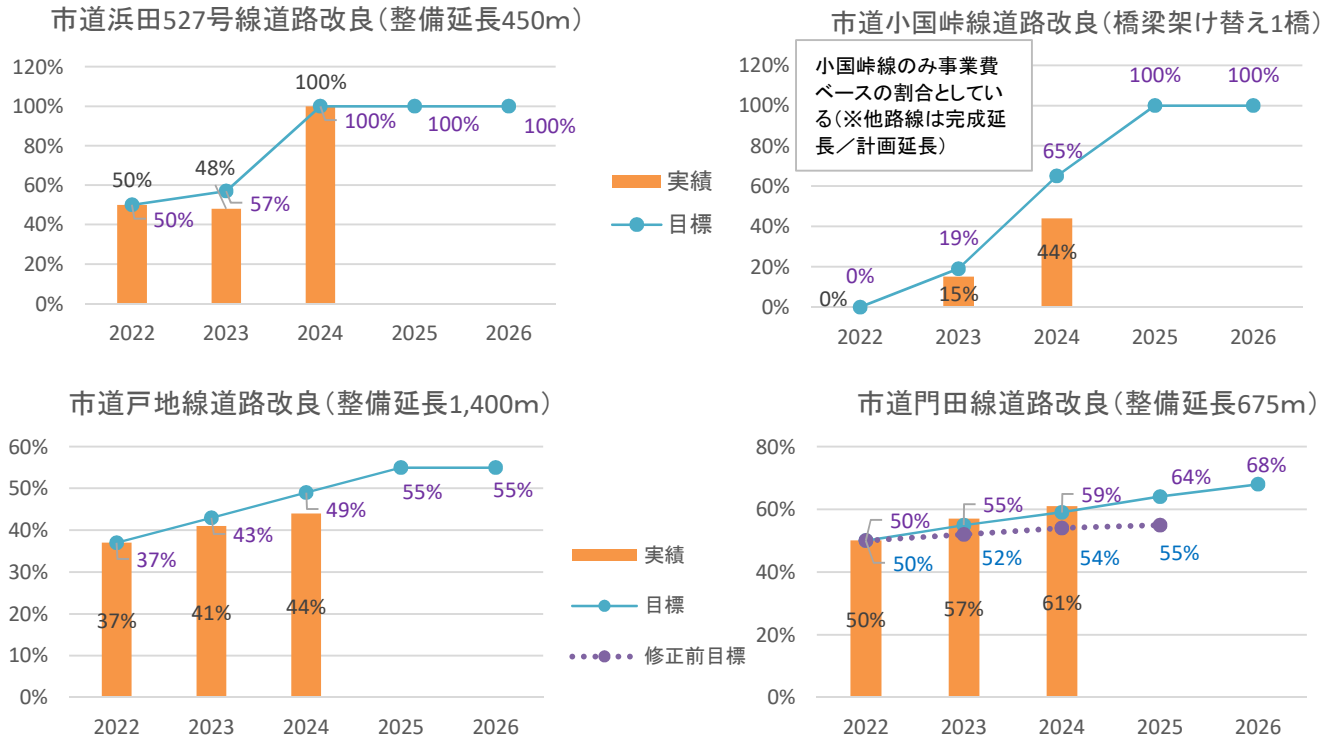
ア　生活幹線道路の整備

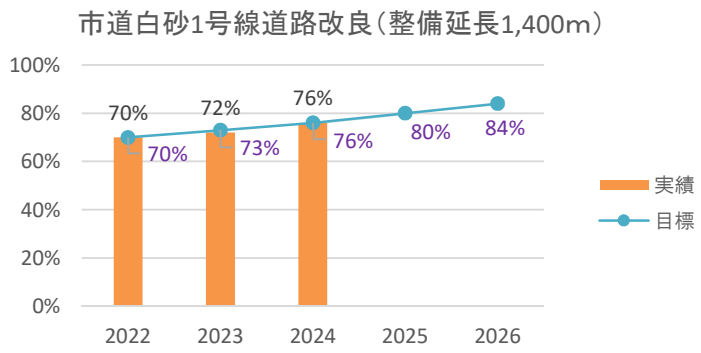
主な事業・取組
□浜田駅周辺整備事業
□小国峠線道路改良事業【橋梁架け替え】
□戸地線道路改良事業
□戸地線道路改良事業
□白砂１号線道路改良事業
□三隅益田道路建設附帯事業

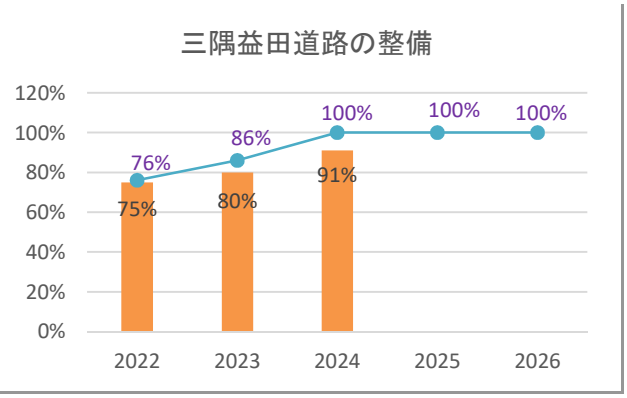
総合振興計画 主要施策	山陰道･浜田道の整備促進
2024年度 主な取組と成果 （建設企画課）	○浜田道4車線化については、事業化した旭ＩＣ～大朝ＩＣ（11.2ｋｍ）区間の事業推進と、未事業化区間の事業化を国土交通省へ要望活動を行いました。 ○三隅益田道路の2025年度開通予定と、山陰道の早期全線開通について、国土交通省等への要望活動を行いました。
今後の展開 （建設企画課）	○浜田道4車線化については未整備区間の事業化に向けて、山陰道については引き続き三隅益田道路の計画通りR7開通と、山陰道の早期全線開通について、要望活動に取り組みます。
総合振興計画 主要施策	市道や農林道の改良･長寿命化
2024年度 主な取組と成果 （建設整備課） （維持管理課）	○市道の拡幅改良を計画的に実施しました。（建設整備課） ○市道小国峠線の橋梁架け替えについて、下部工事を実施しました。（建設整備課） ○市道戸地線の大規模な掘削、法面工事を実施しました。（建設整備課） ○長寿命化修繕計画に基づいて、定期点検、診断および必要な修繕を実施しました。（維持管理課）

今後の展開 （建設整備課） （維持管理課）	○より早期に整備が完了するよう、工法検討を適切に行い、事業の進捗を図ります。（建設整備課） ○定期的な点検、診断および必要な修繕を確実に実施し、道路施設の長寿命化を推進します。（維持管理課）

	代表的な目標	策定時現状値（2020年度）	目標値（2024年度）	実績値（2024年度）	達成率（%）	進捗評価
38	**市道浜田527号線道路改良（整備延長450m）** （【浜田地域】浜田駅周辺の市道を整備し、駅南北の連絡を円滑にする。）	50%	100%	100%	100.0%	A
39	**市道小国峠線道路改良（橋梁架け替え1橋）** （【金城地域】老朽化した谷口橋の架け替えを行う。）	0%	65%	44%	67.7%	B
40	**市道戸地線道路改良（整備延長1,400m）** （【旭地域】集落間を結ぶ幹線市道の整備を行う。）	31%	49%	44%	89.8%	B
41	**市道門田線道路改良（整備延長675m）** （【弥栄地域】集落間を結ぶ幹線市道の整備を行う。） （令和5年度目標値見直し）	40%	59%	61%	103.4%	A
42	**市道白砂1号線道路改良（整備延長1,400m）** （【三隅地域】急カーブ、狭小市道の改良及び集落の環状機能の充実を図る。）	70%	76%	76%	100.0%	A
43	**三隅益田道路の整備** （三隅益田道路（15.2km）を令和7（2025）年度までに供用開始する。）	51%	100%	91%	91.0%	B







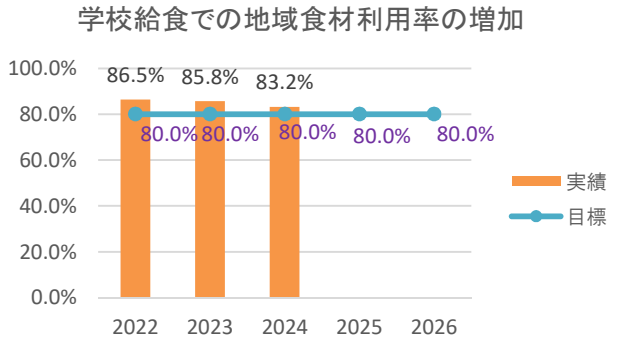
D　地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

ア　地産地消の推進

主な事業・取組
□ＢＵＹ浜田推進事業

総合振興計画 主要施策	儲かる農業の推進
2024年度 主な取組と成果 （農林振興課） （商工労働課）	○担い手等育成支援について、担い手育成事業を12件（9,470千円）、産地振興事業を23件（12,052千円）実施しました。（農林振興課） ○ふるさと農業研修生育成事業については、2023年4月に1人（1,800千円）、研修を行いました。（農林振興課） ○中核的経営体等育成支援事業については4件（8,366千円）支援しました。（農林振興課） ○学校給食でのＰＲ（小学校13校、中学校7校で給食時にテーマソングを放送）や市内小中学校でＢＵＹ浜田についての出前授業（小学校７校、中学校4校）を実施しました。（商工労働課）
今後の展開 （農林振興課） （商工労働課）	○引き続き、有機農業の面積拡大や所得目標を達成できる経営体を育成するため、各種補助事業による支援、就農希望者の確保や新規就農者の育成等を行います。（農林振興課） ○引き続き、学校給食や市内小中学校でＢＵＹ浜田運動についての周知に努め、浜田産品の消費拡大を目指します。（商工労働課）
総合振興計画 主要施策	食育と健全な体づくりの推進
2024年度 主な取組と成果 （教育総務課）	○地元産品の活用を意識した献立の作成を行い、地域食材率の増加に努めることで、地域の食材や産業を知り、地産地消の大切さ、食への感謝の気持ちを育てました。 ○弥栄地域で栽培されたアイガモロボットの実証実験により栽培された「アイガモロボ米」の提供や小学校6年生と中学校3年生を対象に卒業記念として思い出に残る給食となることを願い、浜田産のどくろ（尾頭付き）を提供しました。
今後の展開 （教育総務課）	○浜田市オーガニックビレッジ宣言に基づき、有機米を学校給食に取り入れるなど、引き続き地元産品の活用を意識した献立の作成を行い、地域食材率の増加に努めることで、地元産品の安全性・美味しさを児童生徒に伝え、食育の推進に努めます。 ○また、地元の食材を使って食育指導を行い、地域の食材や産業を知り、食への感謝の気持ちを育てます。

	代表的な目標	策定時 現状値 （2020年度）	目標値 （2024年度）	実績値 （2024年度）	達成率 （%）	進捗評価
44	学校給食での地域食材利用率の増加 （市内小中学校の給食における地元食材利用率）	61.9%	80.0%	83.2%	104.0%	A



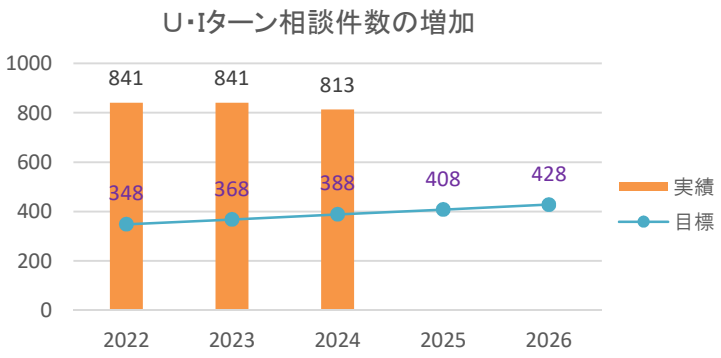
E　地域内外の住民との交流･移住促進

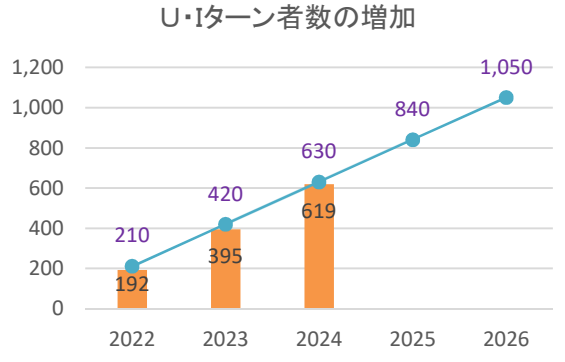
ア　定住施策の充実

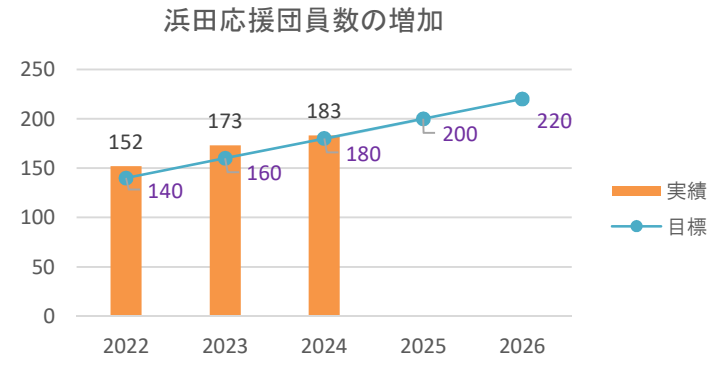
主な事業・取組
☐定住相談事業【定住相談員配置、定住フェア参加】
☐関係人口創出拡大事業
☐音楽を核とした定住促進事業

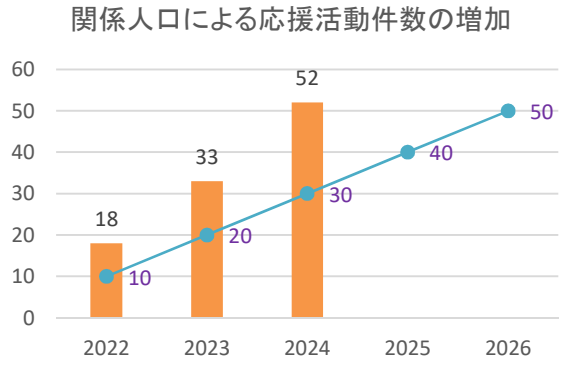
総合振興計画 主要施策	U･Iターン定住支援制度の充実
2024年度 主な取組と成果 （定住関係人口推進課）	○特定地域づくり事業を活用し、若手音楽家の移住促進に取り組みました。地元事業所への就職など、定着にもつながりました。さらに、音楽指導に秀でた地域おこし協力隊員等による市内中学校や高等学校への部活動指導や、小学校から大学生まで幅広い年代によるオーケストラの指導など、「音楽」を通じた地域活性化につながりました。 ○移住者インタビューや各種支援情報等を移住定住情報サイト「はまだぐらし」に掲載し、移住検討者が望む情報を円滑に取得できるよう努めました。
今後の展開 （定住関係人口推進課）	○引き続き、若手音楽家の移住促進と地域活性化に繋がるよう、支援を行うとともに、移住検討者が望む情報の掲載を随時行い、移住促進を図ります。
総合振興計画 主要施策	関係人口との協働による課題解決の推進
2024年度 主な取組と成果 （定住関係人口推進課）	○2024年度は応援活動が19件あり、浜田市内だけでなく、市外で行うイベントの手伝い等の応援活動も行いました。
今後の展開 （定住関係人口推進課）	○引き続き応援活動に取り組むと共に、「てご」をしていただける方が増えるよう活動内容の充実・周知を行います。

	代表的な目標	策定時 現状値 （2020年度）	目標値 （2024年度）	実績値 （2024年度）	達成率 （%）	進捗評価
45	U・Ｉターン相談件数の増加 （定住相談、空き家バンク制度等を通じた年間相談件数）	327件	388件	813件	209.5%	A
46	U・Ｉターン者数の増加 （島根県人口移動調査による、本市のU・Ｉターン者数の令和4～8年度の累計）	年間209人	630人	619人	98.3%	B
47	浜田応援団員数の増加 （浜田応援団の登録者数の令和2年度以降の累計）	125人	180人	183人	101.7%	A
48	関係人口による応援活動件数の増加 （応援団員が実践する応援活動件数の令和4～8年度の累計）	年間10件	30件	52件	173.3%	A







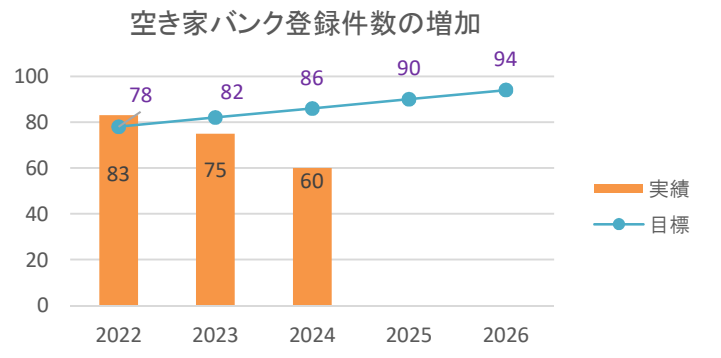


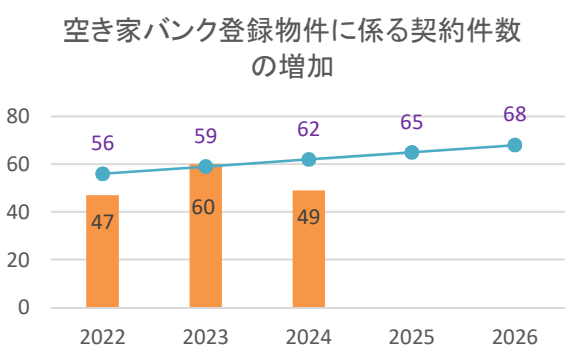
イ　空き家の利活用

主な事業・取組
□はまだ暮らし住まい支援事業【空き家バンク】

総合振興計画 主要施策	空き家を有効活用した定住支援
2024年度 主な取組と成果 （定住関係人口推進課）	○登録件数の減少に伴い、契約件数が減少しました。 ○一方、専用ホームページや市報、浜田地域以外の4地域にチラシを全戸配布するなどによる制度の周知や、空き家相談員を中心とした丁寧な相談対応に努め、空き家バンク登録物件の入居率は約90%となりました。 ○空き家改修補助金については、U・Iターン者かつ39歳以下の若者の補助上限額を拡充し、若者の定着支援を行いました。
今後の展開 （定住関係人口推進課）	○空き家バンク制度の認知度が高まっているため、引き続き、制度周知、空き家相談員を中心に丁寧な相談対応及び空き家バンク協力業者との連携に努め、空き家の利活用促進を図ります。

	代表的な目標	策定時 現状値 （2020年度）	目標値 （2024年度）	実績値 （2024年度）	達成率 （%）	進捗評価
49	**空き家バンク登録件数の増加** （空き家バンクへの年間登録物件数）	74件	86件	60件	69.8%	B
50	**空き家バンク登録物件に係る契約件数の増加** （空き家バンク登録物件のうち、年間契約物件数）	53件	62件	49件	79.0%	B





3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組

A 宣言中心市等における人材の育成

ア 人材の育成	
主な事業・取組 □大学を核としたまちづくり推進事業 □まちづくり総合交付金事業 □浜田国際交流協会助成事業 □男女共同参画推進事業 □地域づくり振興事業 □協働推進事業	
総合振興計画 主要施策	地域間交流、国際交流の推進
2024年度 主な取組と成果 （定住関係人口推進課）	○国際交流活動を行う民間団体へ支援を行いました。
今後の展開 （定住関係人口推進課）	○引き続き民間団体へ支援を行うとともに、活動内容について相談に応じ、多文化共生社会の実現に努めます。
総合振興計画 主要施策	人づくりと推進体制の整備
2024年度 主な取組と成果 （まちづくり社会教育課）	○協働研修会及びまちづくりフォーラムを実施し、市民及び市職員の協働のまちづくりに対する意識の醸成を図りました。 ①協働推進研修会の実施 ・対象：市職員（全職員）（オンデマンド型） ・対象：協働推進員（2回:：講演形式、オンデマンド型） ②協働のまちづくりフォーラムの開催 対象：市民、まちづくり活動団体等（1回） ③地域学習（長浜地区）の実施 対象：長浜地区市民（1回） ○まちづくりへの機運の醸成を図るため、職員研修を定期的に実施するとともに、各まちづくりセンターが発行するセンターだよりを市ホームページに掲載し情報提供を行いました。 ○はまだっ子共育推進事業等により、地域の人材育成を図り、まちづくりセンターの改修や整備については適切に行いました。
今後の展開 （まちづくり社会教育課）	○協働に関する研修会やまちづくりフォーラム等を継続して開催し、職員を始め、市民等の協働のまちづくりへの機運の醸成を図ります。 ○「協働のまちづくり推進計画」に掲げる取組を進めるとともに、各年度における取組実績を取りまとめ、進捗状況の検証を行います。 ○引き続き、まちづくりセンター職員に定期的な職員研修や情報提供を実施し、人づくりと推進体制の整備を図ります。
総合振興計画 主要施策	地域自治の強化

2024年度 主な取組と成果 （まちづくり社会教育課）	○まちづくり総合交付金により、住民主体によるまちづくり活動を支援しました。（まちづくり総合交付金：109団体、課題解決特別事業：8団体8事業） ○地域づくり振興事業補助金により、町内会等が行う自治集会所等の改修、防犯灯や防犯カメラの設置等に対する補助（224件）を行いました。 ○町内会・自治会加入に関するチラシを転入者や高等教育機関の学生に配布する取組や浜田市公式サイトに外国語版チラシを掲載するなどして、加入促進に取り組みました。 ○地区まちづくり推進委員会の設立に向けた各地区の取組に対し、まちづくりコーディネーター、まちづくりセンター、関係課等と連携して支援しました。まちづくりコーディネーターがヒアリング等を行い、設立に向けた定例会議の開催調整や事業実施の支援を行った結果、4団体の地区まちづくり推進委員会が立ち上がりました。 ○まちづくりコーディネーターの取組を見える化するため、まちづくりコーディネーター通信を4半期に1回発行しました。また、まちづくりコーディネーターのFacebookとInstagramを通じて、情報発信を行いました。（投稿回数　37回） ○地区まちづくり推進委員会が取り組む事業を持続的に実施していくため、国の「集落支援員制度」を活用し、きめ細かな支援を行う地区サポーターを試行的に設置し、事務支援等を行いました。
今後の展開 （まちづくり社会教育課）	○まちづくり総合交付金事業や地域づくり振興事業等の財政的支援を引き続き行うとともに、浜田地区及び石見地区の地区まちづくり推進委員会の設立に向けて、まちづくりコーディネーター、まちづくりセンター、関係課等と連携し地域の実情に応じた組織化への働きかけを行います。 ○町内会等の活動や役割を広く周知し、町内会への加入を促進します。 ○2025年度の活動を必要に応じて随時見直しを図り、引き続き、各まちづくりコーディネーターの専門分野を生かして各地域の課題解決に向けた支援を行います。 ○地区サポーター設置の継続検討の結果、次年度以降に本格実施とし、地域課題の解決に向けた取組が一層進むよう支援を行います。
総合振興計画 主要施策	**高等教育機関と市民との交流推進**
2024年度 主な取組と成果 （政策企画課）	○大学等高等教育機関と連携したまちづくり推進事業補助金により、高等教育機関の学生や教員と市民活動団体との交流事業を支援しました。（15団体） ○島根県立大学生が地域で取り組まれている活動発表の場として、まちなかキャンパスを開催しました。 ○広報はまだに毎月、県立大学Newsを掲載し、県立大学の活動等を市民等が身近に感じる取組を行いました。
今後の展開 （政策企画課）	○事業を通じて地域との連携を推進し、高等教育機関とのまちづくり実現に向けた支援を行います。 ○広報等を通じて島根県立大学の情報発信を継続して行います。
総合振興計画 主要施策	**高等教育機関の知的資源活用**
2024年度 主な取組と成果 （政策企画課）	○市の課題について県立大学との共同研究を行いました。（6件） ○島根県立大学学生研究奨励事業では、学生の研究に対して奨励金を給付し、支援を行いました。（奨励金3件、報奨金1件）
今後の展開 （政策企画課）	○県立大学との共同研究を引き続き行い、市の課題解決、施策への反映を促進します。 ○学生の研究意欲の増進と活動支援として研究奨励事業を継続して行います。多くの学生に申請を促すため、周知を強化します。
総合振興計画 主要施策	**政策や方針決定過程への男女共同参画の推進**
2024年度 主な取組と成果 （人権同和教育啓発センター）	○各種審議会への委員就任に対し、浜田女性ネットワークの理事、構成員から、16審議会に幅広く就任していただき、女性の視点で意見を言い市政に反映する機会を確保しました。 ○各審議会において、委員就任を依頼する際、男女共同参画の視点で委員を推薦していただけるよう、各担当課において依頼文等で配慮するよう働きかけました。また、委員改選時期を捉え、審議会担当課へ女性委員の就任について依頼し、男女共同参画の視点で委員就任を意識するよう働きかけを行いました。 ○地域における防災研修を地域自主防災組織と開催し、あらゆる場面において、女性の意見や男女共同参画の視点を取り入れることの必要性等について、気づきの場を提供することができました。
今後の展開 （人権同和教育啓発センター）	○引き続き、各審議会への委員就任を働きかけ、女性の意見を市政に反映する機会の確保を行います。 ○女性委員の就任の意義について庁内で学ぶ機会を設け、女性委員の就任を促すよう規約改正を検討するなど、女性の参画率向上に向けた取組みを行います。 ○引き続き地域における防災を各地域の自主防災組織やまちづくりセンターと開催し、男女双方の意見があらゆる分野において反映されるように取組みます。

	代表的な目標	策定時 現状値 （2020年度）	目標値 （2024年度）	実績値 （2024年度）	達成率 （%）	進捗評価
51	人材育成研修会等の開催回数の増加 （地域リーダーの育成及び協働のまちづくりの推進に関する研修会の年間開催回数の令和4～8年度の累計）	年間2回	18回	16回	88.9%	B
52	大学等高等教育機関と連携したまちづくり推進事業補助金の申請件数の増加 （大学等高等教育機関と連携したまちづくり推進事業補助金の申請件数の令和4～8年度の累計）	年間1件	18件	36件	200.0%	A
53	島根県立大学との共同研究実施件数の維持 （島根県立大学との共同研究実施件数の令和4～8年度の累計）	年間6件	18件	19件	105.6%	A
54	共同研究等の成果を活用した事業数の増加 （共同研究等の成果を活用して実施した新規事業及び改善等を行った既存事業の数の令和4～8年度の累計）	年間2事業	9事業	6事業	66.6%	B
55	**政策や方針決定過程における女性の参画人数の増加** （各種審議会等への女性の参画率）	23.5%	40.0%	28.2%	70.5%	B
56	**政策や方針決定過程における女性の参画拡大** （女性委員を含む各種審議会等の比率）	78.0%	100.0%	78.0%	78.0%	B

